


2023 年度（第 72 回）農業農村工学会大会講演会

技術者継続教育機構認定プログラム申請中 

2023 年度（第 72 回）農業農村工学会大会講演会は、愛媛大学城北キャンパス（愛媛県松山市）において、2023 年 8 月 29 日（火）、30 日（水）、31 日（木）の 3 日間、および現地研修会を 9 月 1 日（金）に開催します。

開催方法は、発表者は原則、現地にて発表を行い、聴講者は現地またはオンラインによる聴講を可能とします。

期日 2023 年 8 月 29 日（火）、8 月 30 日（水）、8 月 31 日（木）、
9 月 1 日（金）

1. 開会式、特別講演、学会賞授与式

8 月 29 日（火）13：30～

愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール、オンライン配信

2. 一般講演会

8 月 29 日（火）、8 月 30 日（水）、8 月 31 日（木）

愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟 A、グリーンホール、オンライン配信

3. 交流会

8 月 29 日（火）18：00～

ANA クラウンプラザホテル松山

4. 企業展示

8 月 29 日（火）、8 月 30 日（水）、8 月 31 日（木）

愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟 A

5. 参加登録および参加費

現地参加およびオンライン聴講には、参加登録が必要です。講演申込みを行った方も参加登録を行う必要があります。2023 年度（第 72 回）農業農村工学会大会講演会専用ホームページから参加登録を行ってください。この専用ホームページは農業農村工学会のホームページ <http://www.jsidre.or.jp/zenkokutakai/> からリンクされます。

参加費は、参加登録期間によって異なります。後期参加登録の参加費は割高となりますので、できるだけ事前参加登録をお願いします。

・事前参加登録 6 月 15 日（木）～7 月 31 日（月）

・後期参加登録 8 月 1 日（火）～8 月 31 日（木）

参加区分	事前登録	後期登録	領収書
一般（現地）	8,000 円	10,000 円	ダウンロード
学生（現地）	0 円	0 円	なし
一般（オンライン）	8,000 円	10,000 円	ダウンロード
学生（オンライン）	0 円	0 円	なし

6. 配付物

配付物は次のとおりです。配布物の事前送付はいたしません。後期参加登録をされた一般の方には、現地参加であっても概要集は配布いたしませんので、大会参加者専用サイト内よりダウンロードしてください。また、オンライン聴講で参加登録された一般の方、および、学生にも概要集は配布いたしませんので、大会参加者専用サイト内でダウンロードしてください。

なお、CD-ROM 版の講演要旨集は廃止し、ダウンロード方式へ変更いたしました。

参加区分	概要集(冊子体)	講演要旨集
一般（現地、事前登録）	当日配付	大会参加者専用 サイト内でダウ ンロード
一般（現地、後期登録）	大会参加者専用 サイト内でダウ ンロード	
学生（現地）	大会参加者専用 サイト内でダウ ンロード	
一般・学生（オンライン）	大会参加者専用 サイト内でダウ ンロード	

7. 講演方法

①口頭発表・スチューデントセッション・企画セッション：現地会場での口頭発表を基本とします。また Zoom によるオンライン配信も行います。

②ポスター発表：現地会場でのポスター発表を基本とします。オンライン上でのポスター掲示も行います。

8. CPD の取得について

CPD 取得は、現地参加の場合、「特別講演・企業展示紹介・講演会（口頭発表・ポスター発表・スチューデントセッション・企画セッション）の聴講および発表」、「企業展示での情報収集」、「現地研修会への参加」が対象となります。また、オンライン参加の場合は、「特別講演・企業展示紹介・講演会（口頭発表・スチューデントセッション・企画セッション）の聴講」が対象となります。CPD を申請する際には、上記 5. の参加登録が必要です。

* 今後の決定事項については、農業農村工学会のホームページでお知らせいたします。

第 1 日 8 月 29 日（火）開会式・特別講演・学会賞授与式・一般講演会・企業展示・ポスター発表

受付	9：30～	
一般講演会	10：50～12：30	共通講義棟 A、グリーンホール、オンライン配信
開会式	13：30～14：00	南加記念ホール、オンライン配信
特別講演	14：10～15：10	南加記念ホール、オンライン配信
企業展示紹介	15：15～15：40	南加記念ホール、オンライン配信
学会賞授与式	15：45～17：15	南加記念ホール、オンライン配信
企業展示	9：30～17：20	共通講義棟 A

第 2 日 8 月 30 日（水）一般講演会・スチューデントセッション・企画セッション・ポスター発表 コアタイム・企業展示・シンポジウム

受付	8：30～	共通講義棟 A
一般講演会・スチューデントセッション・企画セッション	9：00～18：00	共通講義棟 A、グリーンホール、オンライン配信
ポスター発表	9：00～18：00	（コアタイム 13：00～14：00） 共通講義棟 A 4 階アクティブラーニングルーム

企業展示 9:00~18:00 共通講義棟 A 1階コミュニケーションラウンジおよび共
A13
シンポジウム 1 11:00~12:40 第1会場(グリーンホール)
シンポジウム 2 14:20~16:00 第1会場(グリーンホール)

シンポジウム 1

土地改良と農業農村工学 どうする男女共同参画

期日 8月30日(水) 11:00~12:40 第1会場(グリーンホール)

第5次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画では政策・方針決定過程への女性参画の推進と女性が能力を発揮できる環境整備の整備が掲げられ、2025年度までに女性理事のいない土地改良区(土地改良区連合を含む)をなくし、女性理事の登用を10%以上とする成果目標も定まりました。

一方、農業農村工学では、会員全体では約1万人中女性は6%と非常に少ない状況ですが、学生会員では3割が女性となっています。

このような社会の流れの中で、今まで男性社会といわれて久しい土地改良や農業農村工学において、「男性は〇〇、女性は〇〇」という無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)を払拭する意識の醸成はもちろんのこと、男女共同参画の趣旨を踏まえた整備、たとえば施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進、そのための新しいDX(デジタルトランスフォーメーション)技術の開発等による農村の生活環境や労働環境の整備が求められています。また、そもそも土地改良区や農業農村工学という言葉自体が、特に若者に十分知られていないことも問題です。

このため、これまでつながり少なかった両者が共通認識を持ち連携することで、これから、「どうする男女共同参画」を議論します。

ひとりひとりがイキイキと活躍する農業・農村を実現するために何が必要か、農政局、県、学会、水土里ネット女性の会、大学等の関係者を交え議論をすることで、仲間づくり、新しい発想や魅力発信につながることを期待し企画しました。

シンポジウム 2

デジタル技術を活用した成長分野に貢献する農業農村工学の最先端

期日 8月30日(水) 14:20~16:00 第1会場(グリーンホール)

農業農村工学会は、デジタル技術を活用して、「スマート農業の推進」、「農村にある社会資本の保全管理や流域治水などの防災・減災」、「再生可能エネルギーや生物多様性等地域資源を活用した自立分散型の農村」など気候変動、脱炭素、SDGsなどはもとより、現在喫緊の課題である「食料の安全保障強化」を直接的に支える学術・技術領域を担っています。そのため、農業や農村をフィールドとして、デジタル時代を支える技術開発と人材育成を推進しています。また、国家公務員総合職・一般職の独立した試験区分として国の施策を推進する人材の育成に努めています。特に、JABEE認定大学は、このような教育方針に加えてグローバル社会でわが国の未来を担う人材の教育プログラムに国際的評価を獲得しています。さらに、当学会では、コロナ禍を踏まえ学生の年会費免除や博士課程に進学する人材に研究費を支援するなど、デジタル技術を活用した次代の人材育成にも積極的な取り組みを行っています。

このようなことから、学会では、2023年3月16日理事会において、緊急要望「農業農村工学は理工農系人材の育成に貢献する学術・教育分野です」を決議したところ。そこで、この議決を踏まえて、農業農村工学は、デジタル技術を活用した成長分野に貢献する学術・技術領域であり、内外に向けて、具体的に農業農村工学がデジタル技術開発や人材育成にどのように取り組んでいるかを、さまざまな分野の方々に論じていただくため、シンポジウムを企画しました。

第3日 8月31日(木) 一般講演会・企画セッション・企業展示・ポスター発表

受付 8:30~ 共通講義棟 A
一般講演会・企画セッション
9:00~17:20 共通講義棟 A, グリーンホール, オンライン配信
ポスター発表 9:00~15:00 共通講義棟 A 4階アクティブラーニングルーム
企業展示 9:00~15:00 共通講義棟 A 1階コミュニケーションラウンジおよび共
A13

現地研修会

大会主催側でバスを貸し切る方式の南予コースと各自レンタカー等車で移動する中予コースの2方式で開催します。各コースの詳細は下記のとおりです。

南予コースでは、平成30年7月に発生した西日本豪雨により被害を受けた愛媛県宇和島市における柑橘畑の復旧現場を見学していただきます。また、日本を代表する柑橘県の一つである愛媛県においてさまざまな柑橘の栽培実験を行っているみかん研究所を見学していただき、災害から復旧しつつある宇和島市における柑橘栽培の取組みについて紹介いたします。

中予コースでは、柑橘畑の再編整備を行っている下難波地区と佐古ダムの見学を行っていただきます。

○南予コース
・移動方法 : 大型バス(1台)
・日時(時間) : 令和5年9月1日(金) 8:30~15:30
・見学場所(ルート) : 愛媛県宇和島市(再編復旧 白浦, 原型復旧 中島氏園地, みかん研究所)
・費用 : 4,000円(昼食各自)
・募集人数 : 先着25~30名
・特記事項 : 昼食は道の駅 さいや広場のフードコート「郷土料理 食のひろば」で各自自由に食事をとっていただきます。雨天決行の予定です。
<https://www.kisaiyahiroba.com/eat/>

○中予コース
・移動方法 : 各自レンタカー等車で移動
・日時(時間) : 令和5年9月1日(金)
第1回 10:00~, 第2回 14:00~
・見学場所 : 愛媛県松山市(再編整備 下難波), 東温市(佐古ダム)
・費用 : なし(交通手段は各自確保, 昼食各自)
・募集人数 : 午前, 午後各回 先着20台
・特記事項 : 移動および昼食は各自でお願いします。雨天決行の予定です。
各研修先ともに、車の乗入れ台数を20台に限定します。申込者は車の乗入れ者として申込みおよび同乗予定者数の入力をお願いします。申込み台数が20台になった時点で募集を停止します。申込みをすると車の台数=1とカウントされます。よって、車に同乗される予定の方は、研修に参加可能ですが、申込みはしないでください。

*現地研修会はCPDポイントの対象ですが、各施設での説明を受

けた証明が必要です。

*中予コースについては、説明時間以外に見学することはできません。資料は説明時間のみ配布します。

*今後、変更等ある場合は、随時、農業農村工学会のホームページでお知らせいたします。

大会講演会記念行事の開催について

ミニ動画コンテスト「こりゃ映像(えいぞ〜)！2023」受賞作品等の上映および表彰式

部門別講演会場

共通講義棟A, グリーンホール

第1会場 [グリーンホール] 農地造成・整備・保全, シンポジウム 1, 2, 企画セッション3, 11

第2会場 [共A11] 灌漑排水, 企画セッション4

第3会場 [共A21] 水文・水質・気象, 企画セッション5, 14

第4会場 [共A24] 土壌物理, 企画セッション6, 水理

第5会場 [共A31] 土質力学, 企画セッション1, 7, 12, 応用力学

第6会場 [共A32] 農村計画, 生態環境, 企画セッション2, 8

第7会場 [共A36] 農村計画, 企画セッション10, 13

第8会場 [共A41] 農業土木教育・農業情報, スチューデントセッション, 環境保全

第9会場 [講義室44] 材料・施工, 企画セッション9

ポスター会場 [共通講義棟A 4階アクティブラーニングルーム]

企画セッション

【8月30日(水)】

企画セッション1 第5会場 (14:20~16:00)
農村のバイオマス利活用の発展と展開を考える
<資源循環研究部会>

企画セッション2 第6会場 (14:20~16:00)
農村生態工学分野のさらなる活性化に向けて
<農村生態工学研究部会>

企画セッション3 第1会場 (16:20~18:00)
人工縮減時代の土地改良施設の管理及び農地保

全の在り方<農業農村整備政策研究部会・農地保全研究部会>

企画セッション4 第2会場 (16:20~18:00)
資源循環利用の観点から考える汚水の畑地利用
<畑地整備研究部会>

企画セッション5 第3会場 (16:20~18:00)
農業農村地域における情報利活用の未来図Ⅲ
<農業農村情報研究部会>

企画セッション6 第4会場 (16:20~18:00)
ため池強靱化のためのプレキャストを活用した
迅速施工に関する技術開発の動向

企画セッション7 第5会場 (16:20~18:00)
伊予の坎キツ作における「水土の知」
<水土文化研究部会>

企画セッション8 第6会場 (16:20~18:00)
農業環境における生態系サービス評価研究の展
開

企画セッション9 第9会場 (16:20~18:00)
材料施工分野におけるICTの活用
<材料施工研究部会>

【8月31日(木)】

企画セッション10 第7会場 (11:00~12:40)
豪雨災害からの復興と発展を考える
<農村計画研究部会>

企画セッション11 第1会場 (13:40~15:20)
ため池を中心とした情報化施工・3次元データ
活用に関する研究報告(PRISM「ため池強靱化」
報告会)

企画セッション12 第5会場 (13:40~15:20)
我が国および世界の畑地農業が抱える諸問題を
解決する地下灌漑システム OPSIS

企画セッション13 第7会場 (13:40~15:20)
PAWEESとPAWEの活動
<PAWEES事務局・国際委員会>

企画セッション14 第3会場 (15:40~17:20)
農業農村整備における気候変動への長期的な適
応戦略<水文・水環境研究部会>

2023 年度農業農村工学会賞

(※所属は推薦時)

【学術賞】

河川流出負荷量とその不確かさの推定に関する一連の研究

神戸大学大学院農学研究科 多田明夫

【研究奨励賞】

産業副産物を用いた農業水利施設の建設・改修技術に関する先導的研究

神戸大学大学院農学研究科 鈴木麻里子

【研究奨励賞】

農村地域の水循環に関するデータ科学的手法による研究

近畿大学農学部 木村匡臣

【研究奨励賞】

気候変動下における水資源および地域環境に関する国際的かつ学際的な研究

岐阜大学応用生物科学部 乃田啓吾

【技術奨励賞】

鋼矢板—コンクリート複合材「ストパネ工法」の開発による腐食鋼矢板水路の迅速再生に関する一連の研究開発

藤村クレスト(株) 長崎文博

(株)水倉組 小林秀一・板垣知也

新潟大学自然科学系 鈴木哲也

【優秀論文賞】

山腹水路の迂回度指標の提案

宮崎大学農学部 竹下伸一

【優秀論文賞】

東北地方のコンクリート水利施設における石灰石粗骨材の溶脱に関する基礎的研究

宮城大学大学院食産業学研究科 金平修祐

宮城大学食産業学群 北辻政文

【優秀論文賞】

模擬豪雨を活用した特徴の異なる田んぼダム器具の機能評価

農研機構農村工学研究部門 皆川裕樹

新潟大学自然科学系 宮津 進

【優秀報文賞】

ベトナムでの間断灌漑の温室効果ガス排出削減効果と普及に向けた課題

国際農林水産業研究センター 宇野健一・進藤惣治

【優秀報文賞】

ブルキナファソにおける石積み工と列状植栽工の複合技術

国際農林水産業研究センター 團 晴行・南雲不二男

ブルキナファソ環境農業研究所

ダビンガ ジョナス・バロ アルベール

【優秀報文賞】

環境配慮施設設置前の取組みが住民意識に及ぼす効果

(一社)地域環境資源センター 草光紀子

石川県立大学(名誉教授) 上田哲行

【優秀報文賞】

石垣島からネグロス島へ、みどり戦略の提唱に向けた取組み

国際農林水産業研究センター 岡 直子・安西俊彦

竹中浩一・岡本 健・寺島義文・奥津智之・菊地哲郎

【優秀技術賞】

集排汚泥およびバイオ液肥の利活用を伴う小規模メタン発酵システムの導入

(一社)地域環境資源センター 蒲地紀幸
農研機構農村工学研究部門 中村真人・折立文子

京都大学大学院農学研究科 大土井克明

(一社)地域環境資源センター 柴田浩彦・是川和宏

大塚直輝

【優秀技術賞】

藤沼ダムの新たな締固め管理と安定解析による再建

福島県中農林事務所 鈴木秀一郎・渡邊浩樹

(一社)地域環境資源センター 田中忠次

元東京大学 龍岡文夫

茨城大学農学部 毛利栄征

(株)複合技術研究所 デュッティン アントワン

NTC コンサルタンツ(株) 三浦 亨

【優秀技術リポート賞】

小水力発電における非灌漑期水利権の取得事例

豊沢川土地改良区 佐藤光広

【優秀技術リポート賞】

利根大堰における河川内仮締切り工事

水資源機構利根導水総合事業所 山中理奈・原 幸也

【優秀技術リポート賞】

中山間地域の圃場整備における ICT 施工の導入

神奈川県西地域県政総合センター 武田佳祐

神奈川県環境農政局農政部 曾我 聡・岡田茂明

【優秀技術リポート賞】

中山間地域におけるラジコン草刈り機適用性の実証調査

京都府土地改良事業団体連合会 西尾吉生

松本万由子

【優秀技術リポート賞】

ため池における希少種保護と外来種駆除対策

広島県土地改良事業団体連合会 秋山浩三

【優秀技術リポート賞】

ほ場整備事業の確定測量における効率的な手法

熊本県南広域本部 井手照公

【著作賞】

「アフリカから始める水の話」の著作

川村学園理事, 国際教養大学客員教授,

元 カナダ, エジプト大使 石川 薫

国土交通省水管理・国土保全局 中村康明

【著作賞】

「有明海を探る 物質循環から見た奥部の現状と将来」の著作

佐賀大学(名誉教授) 瀬口昌洋

佐賀大学農学部 郡山益実

【著作賞】

「農業用鋼矢板水路の実態解明と保全対策」に関する一連の著作

新潟大学農学部 鈴木哲也

農研機構農村工学研究部門 浅野 勇

土木研究所寒地土木研究所 石神暁郎

【環境賞】

小学校における出前授業や地域団体との連携を通じた環境保全活動の取組み

道後平野土地改良区

【地域貢献賞】

「中山千枚田」を核とした地域活性化

小豆島町中山棚田協議会

【地域貢献賞】

愛媛・南予の柑橘農業システムを支える南予用水を担って

南予用水利改良区連合

【国際貢献賞】

PAWE 誌の国際ジャーナルとしての地位確立による国際貢献

秋田県立大学生物資源科学部 増本隆夫

【国際貢献賞】

ラオス中山間農村から産出される非木材林産物の経済価値の解明と持続的利用への貢献

国際農林水産業研究センター 木村健一郎

【功労賞】

農業農村整備の推進に関する技術振興と技術者育成への取組

(株)チェリーコンサルタント 矢野 均

【上野賞】

新技術を適用した東播用水二期地区の水路等更新整備
近畿農政局農村振興部

【上野賞】

地域特性に応じた多様かつ総合的なため池管理・活用体制の構築

兵庫県農林水産部農地整備課

兵庫県ため池保全協議会

兵庫県土地改良事業団体連合会

【沢田賞】

持続的な人獣共存農村空間デザインに関する一連の研究

愛媛大学大学院農学研究科 武山絵美